

【 議 題 】

生活交通改善事業計画について

～令和7年度分(その2)～

【議案説明】

令和7年度「生活交通改善事業計画」について(その2)《鉄道》

伊予鉄道株式会社では、鉄道事業として、松山市街地を中心に松山北部の松山観光港に向かう高浜線、松山南部を經由して伊予市の郡中港に向かう郡中線、松山市の道後平野を横断して東温市の横河原駅に向かう横河原線の3路線、延長33.9kmを53両の電車で運行しております。また、軌道事業として、松山城を中心に周囲を循環する環状線、松山市駅から道後温泉を結ぶ松山市駅線、JR松山駅前から道後温泉を結ぶJR松山駅前線、松山市駅から本町6丁目を結ぶ本町線の4系統、延長9.6kmを43両の市内電車で運行しております。

同社は、これまでも鉄道輸送の安全・安心やサービス改善等のため、各種の安全対策・バリアフリー対策等の設備整備を進めておりますが、近年、多くの鉄道設備が更新時期を迎え、多額の設備投資が必要となることから、各種補助を活用した整備の推進を計画しております。

今年度、同社では、愛媛県地域交通活性化中予地区協議会において、去る令和7年2月21日及び令和7年6月10日に承認いただいた令和7年度計画に基づき、鉄道輸送の安全確保に資する各種事業を実施しているところです。(令和6年度計画の一部については、令和7年度に事業繰越)

また、それに加えて、国の補助制度を活用して、令和8年度に予定していた安全確保事業を令和7年度に前倒しで実施することとなり、その事業について新たに計画を策定する必要が生じたため、別添の議案のとおり「生活交通改善事業計画(その2)」が愛媛県地域交通活性化中予地区協議会に提出されました。

〔伊予鉄道株式会社 実施事業のうち補助対象事業〕

事業項目	事業内容	補助制度	国補助金
(1)線路設備	マクラギ更新（木→P C） 【郡中線(松前町内)】	国/県/市町	鉄道施設総合安全 対策事業費補助金
	レール更新（40kgN→50kgN） 【横河原線（東温市内）】		
	マクラギ交換（木製同種） 【各線区】	国	
	分岐器更新（40 kg N同種交換） 【古町・大手町間】		
(2)信号保安設備	踏切集中監視システムの更新 【高浜線・城北線】		

〔令和7年度 総事業費及び補助内訳〕

総事業費：170,000千円

補助内訳：下表のとおり

補助申請先	総事業費のうち、 補助対象経費	補助率	補助申請(予定)額
国	170,000千円	1/3※	56,666千円
愛媛県	(調整中)	(調整中)	(調整中)
東温市	(調整中)	(調整中)	(調整中)
松前町	(調整中)	(調整中)	(調整中)

令和7年度 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業
「伊予鉄道株式会社 生活交通改善事業計画」

1. 事業の目的・必要性

- 線路設備のうち木製まくら木の同種交換
列車運行の安全性向上を図るため、設置経年した「木製まくら木」を同種の「木製まくら木(新品)」に交換する必要がある。
- 線路設備のうち木製まくら木をPCまくら木に更新
列車運行の安全性向上を図るとともに、騒音の低減及び保線作業の効率化を目指すため、設置経年した「木製まくら木」を「PCまくら木」に交換する必要がある。
- 線路設備のうち40 kg N レールを50 kg N レールに更新
経年により摩耗の見られる40 kg N レールを50 kg N レールに更新し、列車運行の安全性向上を図る。
- 線路設備のうち40 kg N 分岐器レールの同種交換
経年により摩耗の見られる40 kg N 分岐器レールを同種の40 kg N 分岐器レール(新品)に交換し、列車運行の安全性向上を図る。
- 信号保安設備のうち踏切集中監視システム更新
経年により老朽化した踏切集中監視装置を更新し、列車運行の保安度向上を図る。

2. 事業の定量的な目標及び効果

鉄道施設総合安全対策事業費補助制度を活用し、下記の鉄道・軌道の設備を更新することにより、1124万人(2024年度、郊外線年間利用者数)及び651万人(2024年度、軌道線年間利用者数)の輸送の安全を向上させる。

- 線路設備のうち木製まくら木の同種交換
各線区の経年の木製まくら木のうち、約1000本を同種交換することにより、運転保安度の向上を目指す。
- 線路設備のうち木製まくら木をPCまくら木に更新
全線で、単線延長44.8kmのうち令和7年12月末で約44%に当たる20.0kmのPCまくら木化が完了しているが、更に約330本をPCまくら木化し、運転保安度の向上等を目指す。
- 線路設備のうち40 kg N レールを50 kg N レールに更新
摩耗及び劣化の激しい横河原線の40 kg N レールを50 kg N レールに更新(600m)し、運転保安度の向上を目指す。

- 線路設備のうち 40 kg N 分岐器レールの同種交換
 摩耗及び劣化の激しい古町～大手町間における古町ダイヤモンドクロッシング(40 kg N 分岐器レール)を同種交換することにより、運転保安度の向上を目指す。
- 信号保安設備のうち踏切集中監視システムの更新
 高浜線・城北線の踏切集中監視装置用監視端末・駅装置および高浜線の現場装置の更新を実施し、列車運行の保安度向上を図る。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画参照

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

総事業費 170,000千円(令和7年度実施予定)

負担額	国	56,666千円
	愛媛県	(調整中) 千円
	東温市	(調整中) 千円
	松前町	(調整中) 千円
	伊予鉄道	(調整中) 千円

5. 計画期間

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画参照

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画(保線・土木関係)

事業実施事業者名：伊予鉄道株式会社

計画期間 3年 (単位：千円)

区 分		安全輸送設備整備実施年度					
		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所
線路設備 まくら木	木製まくら木の同種交換	33,000	各線区の木まくら木交換 (N=1000本)			35,000	各線区の木まくら木交換 (N=1000本)
線路設備 まくら木	木製まくら木をPCまくら木 に更新	28,000	郡中線のPCまくら木化 (N=330本)			38,000	鉄道線のPCまくら木化 (N=490本)
線路設備 レール	40kgN レールを50kgN レール に更新	49,000	横河原線の40kgN レールを 50kgN レールに更新 (L=600.0m)			43,000	横河原線の40kgN レールを 50kgN レールに更新 (L=510.0m)
線路設備 レール まくら木	40kgN レールを50kgN レール に更新及び木製まくら木の同 種交換(城南線)			40,000	城南線の40kgN レールを 50kgN レールに更新 (L=185.0m) 木まくら木交換 (N=281本)	43,000	城南線の40kgN レールを 50kgN レールに更新 (L=200.0m) 木まくら木交換 (N=320本)
線路設備 レール	40kgN レールの同種交換 (道路交差点内)			42,000	城南線県庁前交差点内 40kgN レール交換 (L=68.5m)	35,000	城南線勝山町～警察署前間 40kgN レール交換 (L=77m)
線路設備 レール 連接軌道	40kgN レールを50kgN レール に更新、踏切道連接軌道プロ ックの更新			34,200	横河原線・久米～鷹ノ子駅 間40kgN レールを50kgN レールに更新L=24m及び連接 軌道更新		

区 分		安全輸送設備整備実施年度						
		令和7年度		令和8年度		令和9年度		
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	
線路設備	レール	40kgN 分岐器レールの同種交換			31,000	交差点内の 40kgN 分岐器レール交換	31,000	交差点内の 40kgN 分岐器レール交換
線路設備	レール	40kgN 分岐器レールの同種交換	15,000	ダイヤモンドクロッシング 40kgN 分岐器レール交換				
線路設備	レール	50kgN 分岐器レールの同種交換			39,100	50kgN 分岐器レール交換		
線路設備	レール	40kgN レールの同種交換 (踏切道内)			36,700	踏切道内 40kgN レール交換 (L=250.0m)	10,000	踏切道内の 40kgN レール交換
線路設備	レール	ダイヤモンドクロッシング交換					35,000	ダイヤモンドクロッシング交換

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画(電気関係)

事業実施事業者名：伊予鉄道株式会社

計画期間 3年 (単位：千円)

区 分		安全輸送設備整備実施年度					
		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所
電路設備 電柱	電柱建替			4,900	横河原線のコンクリート柱を建替(N=1本)	25,000	鉄道線のコンクリート柱を建替
信号保安設備 踏切保安設備	踏切遮断機取替			31,800	鉄道線の踏切遮断機取替(N=24基)	31,800	各線区の踏切遮断機取替
信号保安設備 踏切保安設備	踏切動作反応灯取替			3,300	鉄道線の踏切動作反応灯取替(N=5台)	8,000	各線区の踏切動作反応灯取替
信号保安設備 踏切保安設備	踏切警報機取替					20,000	各線区の踏切警報機取替
信号保安設備 連 動装置	連動装置更新			35,000	横河原線横河原駅 連動装置更新	45,000	連動装置更新
信号保安設備 連 動装置	列車検知装置の更新			33,480	各線区の列車検知装置の更新(N=10基)	33,480	各線区の列車検知装置の更新

信号保安設備 踏切保安設備	踏切保安装置(器具箱)の更新			44,500	各線区の踏切保安装置(器具箱)の更新(N=6基)	44,500	各線区の踏切保安装置(器具箱)の更新
信号保安設備踏切集中監視装置	踏切集中監視システムの更新	45,000	高浜線・城北線の踏切集中監視システムの更新			36,000	各線の踏切集中監視システムの更新
変電所設備変成機器	変圧器又は整流器付随設備の更新			356,000	郡中線余戸変電所変圧器又は整流器付随設備の更新		

6. 事業者の収支改善計画

別紙の通り(伊予鉄道収支改善計画)

7. 協議会の開催状況と主な議論

- ・令和8年 月 日 愛媛県地域交通活性化中予地区協議会
- ・令和8年 月 日 愛媛県地域交通活性化推進会議

(協議会の構成)

別紙のとおり(愛媛県地域交通活性化推進会議委員名簿)

令和8年 月 日

伊予鉄道（鉄軌道事業）収支改善計画

(単位：百万円)

	R1	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
旅客運輸収入	3,153	3,153	2,307	3,155	2,462	3,156	2,840	3,157	3,182	3,158	3,491	3,159		3,160	
運輸雑収	363	364	404	365	388	365	403	366	391	366	406	367		367	
収入計	3,516	3,517	2,711	3,520	2,850	3,521	3,243	3,523	3,574	3,524	3,897	3,526		3,527	
運行費用	3,157	3,156	2,895	3,155	2,987	3,154	3,083	3,153	3,248	3,152	3,531	3,151		3,151	
鉄軌道事業収支	359	361	-184	365	-137	367	160	370	326	372	366	375		376	
その他関連事業収支	7	7	20	7	7	7	6	7	0	0	0	0		0	
全事業収支	366	368	-164	372	-130	374	166	377	326	372	366	375		376	

(上記鉄軌道事業収支計画に盛り込んだ①増収策、②経費削減策の具体的な内容(内訳))

①増収策内訳		1		4		5		7		8		10		11	
インバウンド旅客の獲得			-	2	-	3	-	4	-	5		6		7	
広告宣伝料		1	-7	2	8	2	11	3	27	3	34	4		4	
②経費削減策内訳		1		2		3		4		5		6		6	
省エネ車両への更新		1	8	2	8	3	-6	4	0	5	-3	6		6	
改善効果(①+②)		2		6		8		11		13		16		17	

愛媛県地域交通活性化推進会議委員名簿

R7.6.24現在

区分	役職等	氏名
学識 経験者	愛媛大学社会共創学部 教授	松村 暢彦
	松山大学法学部 准教授	甲斐 朋香
交通 事業者 団体	一般社団法人愛媛県バス協会 専務理事	松本 真一
	一般社団法人 愛媛県ハイヤー・タクシー協会 専務理事	谷口 政賀津
	愛媛県旅客船協会 会長	清水 一郎
鉄道 会社	四国旅客鉄道(株) 愛媛企画部長	窪 仁志
	伊予鉄道(株) 代表取締役専務取締役	河野 智臣
地域 づくり 団体	愛媛県商工会議所女性会連合会 理事	程野 美加
	(株)まちづくり松山 代表取締役	加戸 慎太郎
労働者 団体	愛媛県私鉄労働組合連合会 会長	宮崎 司
	全日本海員組合愛媛支部 支部長	清水 駿
公共 交通 利用者	愛媛県社会福祉事業団 常務理事	菅 隆章
	愛媛県社会福祉協議会 常務理事	山本 泰士
	公募委員	倉本 逸男
	公募委員	横手 裕子
	公募委員	井沼 一
関係 行政 機関	四国運輸局愛媛運輸支局長	山下 文明
	西予市長(県市長会会長)	管家 一夫
	八幡浜市長	大城 一郎
	伊方町長(県町村会長)	高門 清彦
	愛媛県企画振興部長	山名 富士

(委員21名)